

「日本のICTの国際展開」

情報通信国際戦略局
国際協力課国際支援展開室
情報通信支援係長

吉田 邦彦



ICTの国際展開

私が所属している国際協力課では、日本の情報通信技術（ICT）の国際展開を行っています。具体的には、日本企業の得意分野である「防災 ICT システム」、「電子行政システム」及び「センサーネットワーク」等の海外への売り込みの支援を行っています。主な主戦場は ASEAN などアジア諸国。すでに韓国がアジア諸国では日本よりも先行しており、今後、日本がいかにか挽回していくかが課題となっていきます。ICT に限らず日本の市場は年々縮小傾向、そのため海外に活路を見出すことが今後の生き残りを図るためには欠かせません。

海外との仕事

海外との仕事の難しいところは、単に言葉が違うということだけではありません。日本では常識だと思うことをまず捨て去ることから始まります。スケジュールどおりに物事がうまく進む、なんて思っははいけません。約束の時間に相手が現れない、直前になって会議がキャンセル等、何でもあります。いちいち怒っははいけません。この部署に配属される前の3年間、中東のヨルダンの日本大使館で主に政府開発援助（ODA）に携わっていました。日本の常識が通じないことの方が多かったような気がします。なので、良いか悪いかは別にして、今では日本の常識を客観視できるようになりました。

総務省での仕事とは？

幅広く業務を経験できることが魅力だと思います。ここ数年は、国際関係の仕事に携わっていますが、その前は、地方公共団体や第3セクターに対する支援を通じた地域情報化の業務や総務課で局の取りまとめ業務（国会・広報等）などに携わっていました。それぞれ、全く仕事の進め方が異なっており、非常に勉強になりました。また、情報通信分野は日々目まぐるしく変化しており、日々の業務の中で絶えず勉強していく必要もあります。したがって、「何事にも関心を持つ」という姿勢が大事になってくるのではないかと思います。もし、総務省の情報通信関係部局を希望される場合は、そういったことを念頭に置いていただければと思います。

PROFILE

平成11年4月 郵政省採用

平成17年7月 情報通信政策局
地域放送課企画係長

平成20年5月 在ヨルダン日本国大使館
二等書記官

平成23年7月 現職

とある一週間

月曜日

幹部の海外出張が翌週に決定。出張スケジュールの策定、相手国政府関係者とのアポイントメントなど、急に仕事が忙しくなる。

火曜日

上司から、出張に必要な資料の作成指示。過去からの莫大な資料(電子データ)が蓄積されているので、一から資料を作らなくても良いので助かる。

水曜日

国際協力課で進めている調査研究について業者と打合せ。お互い難しい顔をしながら議論して、結局答えは出ず。

木曜日

外国からの訪問者の対応。幹部表敬訪問、意見交換会と終始和やかに進んだ。訪問者が帰った後は、議事録の作成を忘れずに。

金曜日

出張関係の資料を一式完成させ、翌週の幹部説明のために上司に託す。

土・日曜日

土曜日の午前中は英会話レッスン。最近では料金が安いということでオンラインの英会話レッスンも受けています。



前任地ヨルダンでの一コマ